

## 8. 研究全体構想図

### 本校の教育目標

・ じょうぶな子ども ・ 助けあう子ども ・ 考える子ども ・ やりぬく子ども

#### 研究主題

### 学習の楽しさを味わい、主体的に学ぶ子どもの育成

～説明的文章の読みを通して思考力を高める国語科学習指導の工夫～

#### 【研究仮説】

説明的文章の授業づくりを通して、「言葉による見方・考え方」を豊かにし、子どもが言葉や言葉同士の関係に着目して、意味付けを図るようにする。加えて、言葉へのこだわりをもたせ、筆者の意図を理解させる。このような言葉の力を育てていくことで、確かな読みの力を身に付け、豊かに思いを表現する子どもの育成ができると考える。

#### 【研究主題の具体化の手だて】

- 叙述の解釈
- 言葉へのこだわり
- 音読を効果的に取り入れる
- 資料提示読み
- 辞書の活用
- 児童の実態把握と教材研究

#### 視点 1

一人一人が主体的な学びを生み出すための学習展開

#### 視点 2

一人一人の思考力を高めるための指導者のかかわり

#### 【日常的な取組】

- 今月の詩：詩の校内掲示⇒文字に触れ、交流する場としての環境づくりを進める。
- 読書活動の取組：朝読書、ボランティアによる読み聞かせ⇒自主的な読書活動へ。
- ユニバーサルデザインの取組：学習環境づくり⇒板書や掲示物の文字の大きさ、色、配置、情報量などに配慮する。

#### 【めざす児童像】

学びの楽しさを見出せる児童 主体的に学ぼうとする児童

- 楽しい：叙述にそって、文章を正確に読むことができることで「分かった」が生まれる。
- 主体的：叙述をもとに根拠を明確にし、自分の考えをもつことができる。

#### 各分科会の重点項目

低学年分科会	中学年分科会	高学年分科会
時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、 <u>内容の大体</u> を捉えることができる。	段落の相互関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係を捉え、中心となる語や文を見付けて <u>要約</u> することができる。	事実と感想、意見等との関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて <u>要旨</u> を把握することができる。